

# 藍の生葉染めをしました

● 10月17日(土)開催しました



藍の葉っぱ



布を液につけておく



ミキサーで

布でこす



液に布をつける

19日 2018年5月中浦敬子さんに玉ねぎの皮で草木染めを教わりました。まるごと館の入口ののれんはその時に玉ねぎで染めたものです。今回は杉浦絹代さんから藍の生葉染めを体験させていただきました。藍染めは絹の布しか染まりません。その年に育った藍の葉を摘みます。昨年のもものでは効果がない。枯れるとできない。毎年染めができるように杉浦さんは20年も藍を育てておられます。

当日、沢山必要な道具を持って来て下さって参加者は興味津々でした。

## スタートです

\*藍の葉っぱを切り取る。\*染める布のひもや割りばしで模様が出るようにする。

## 藍染めができる仕組み (ネットより)

葉を粉碎することで無色透明のインジカン(水溶性)が溶け出る。さらに生葉中の酵素が溶けだしインドキシル(水溶性)に。インドキシルが繊維内部に侵入し、酸化されて青色のインジゴ(不水溶性)に変化する。

- \*それを水に浸しておく
- \*生葉と水をミキサーにかける。
- \*それを布かネットに入れ、液をボールに搾り取る



## 八幡まるごと館だより

2024年8月17日/177号

<発行> 八幡まるごと館/八幡市男山松里12-20  
(TEL&FAX) 075-983-3664(9時~17時)

(E-MAIL) [yawata@marugotokan.net](mailto:yawata@marugotokan.net)  
ホームページは <http://marugotokan.net/>  
又は、八幡まるごと館で検索して下さい



八幡まるごと館は街行く人のだれもが自由に立ち寄れる“地域サロン”です。休館日は毎週火曜日全日と土・日午後です。

## 水俣病(四)

栗原杉さん「証言 水俣病」から。水俣湾は漁民の米櫃です。魚をよく食べました。水俣病になった初めは奇病と言われ、地域から除け者にされました。水俣病の痛みより差別の痛みが辛かった◆その中から杉本栄子さんの証言を。一人娘の栄子さんは網元の父親に3歳の頃より漁を教え込まれました。気さくで賑やかな母親は、30人の親子とその家族の面倒をみてきました。家族同然の生活でした。その母親が茂道(地名)で一番初めの患者になり、すぐ隔離病棟に。その日から村中が一変し、誰も来なくなり、父親も栄子さんも水俣病に。それから10年経ちました。悔しいことばかりでした◆父親は「いじめて死ぬよりいいめられて死んだ方がよか。すっきり死ぬ」と言い、栄子さんは愚痴も言わずに辛抱します。そんな時同じ村の雄さんと結婚しました。周りの反対を押し切って来てくれた体が悪く栄子さんは子どもを抱くことさえできませんでしたが、3人流産した後5人の子どもを授かりました。一緒に耐えてきた父親は昭和44年チソソに対する訴訟に参加。他の4軒は切り崩しにありました。父の死後、栄子さんは父の遺言があったから、裁判を最後まで踏ん張れた。4年後に患者側、裁判勝訴で慰謝料がおりました。漁ができない状態の中、みかんの栽培を◆何十年もの長い葛藤の末「人様は変えられないなら自分が変わっていい」と思うようになったそうです。水俣病が有機水銀中毒と明らかになっても差別も排除も変わりませんでした。でも、父の言葉「網の親方は人を好きにならば一人前にはならんとぞ」を胸に、かつての人と人の舐(も)や(い)を結び直そうと考えました◆嬉しいことに平成12年海に魚がもどってきました。よく知った海で漁を行い、水俣病の語り部も、水俣病に翻弄された人生でした。「水俣病になって生きる意味を考え、人とも知り合えた」との言葉を残し2008年に69歳で亡くなりました。不知火海埋立地で毎年市民手作りの行事火まつりがあります。水銀汚染により犠牲になった魚たち、多く死者の魂に祈りをささげる慰霊と再生。栄子さんのかつての祈りの姿が目に見えかけます。



\*そこに布をいれてもむ。泡がある間30分くらいは染めることができる。一回液に布をつけてしぼり、日光にあてる。また液につける。この作業を何回か繰り返し、最後に布を水で液の色が出なくなるまで洗う。日に干して乾かす。生葉染めが出来る時期は藍の葉っぱが育つ6月下旬から9月初めぐらいでしょうか。新芽がよく染まるそうです。本当にきれいな青色に染まりました。自然な色そのままです。杉浦さんは「染めて、織って、綴って、布の追憶」という本を書

かれていて、仕事をされながら大学の通信教育で染織を学んで来られました。お話を伺って、藍の生息地、織りのこと詳しいです。志村ふくみさんの桜の木の話も登場しましたね。

## また体験したいですね

この藍の生葉染めをしたいという方がおられたので連絡したら、9月上旬までの様です。日程の都合がつかなければ来年にまたお願いしようかと思っています。





### オカリひまわり



**8日** 皆様厚い中よく週一でまるごと館まで通って来られました。8月はお盆明けからです。その頃には12月と2月コンサート用の演奏したい曲を参加者の方々から言っていたら、全員で曲を決めてゆきます。そういう

う時に難しい曲に挑戦していきます



### パソコン教室

**15日** お話が多いですが、楽しんで参加されています。

パソコンにおさめられた写真を探しやすいように整理されたり、Excelで文書を作ったりされています。パソコンを持っておられたら、生活で使えるように取り組んでみませんか。また、お話だけの参加でもOKです。話し合える関係ができるのを見られるのは楽しいです。



### 絵手紙講習会

**10日** 参加者が声を掛け合っていました。森本玲子さんがおられたら、色合いとかアドバイスがもらえるのに、と言いながらですが。まるごと館



の野菜生産者の方々から野菜や花、参加者からお庭の花を持って来ていただき成り立っています。今度は魚も是非用意しようと思っています。



### 八幡の歴史

**24日** この日は暑い中参加者が少なかったです。この日は上津屋村の浜代(地名)の尿舟についての話をされました。浜代には舟仲間という組織があって9か条の取り決めがありました。尿舟の船頭は24人いて

担当時期、新艘または修復の時の費用分担、舟の行方が分からない時の対応等々。また毎年2月5日に舳綱(もやいづな)を作ると決めてありました。もやいづなとは舟と舟を結びつけたり、舟を岸につける綱のことです。尿は当時の農業にとって欠かせないので、住人だけのものでは足りなかったようで、淀の尿問屋まで舟でいったそうです。



### 理科の実験

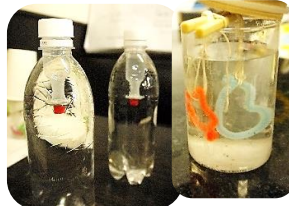
テーマは浮沈子でした。炭酸系のペットボトルをひとり二本ずつ



用意しました。いつものことですが、木下章司さんはペットボトルの中の浮沈子用に小さな醤油入れに金具やストローにゼムピンを用意して下さって、ペットボトルの側面を両手で



押さえると中の浮沈子が沈みます。これは圧力と浮力の学習をしていることです。押すことで水圧が上がり、浮沈子の中の空気が縮んで水が醤油入れに入り重くなり沈むというわけのようです。この日はお土産も。木下さんそして金澤さん、石岡さんありがとうございました。スイカも。



## 八幡まるごと館8月・9月の予定

休み 8月12日(月)~16日(金)  
8月23日(金)24日(土)、9月13日(金)

<b>&lt;パソコン教室&gt;</b>	
8月5日(月)10時~12時	パソコンを持って来て下さい。費用200円(コーヒーつき)
毎週月曜日10時~12時	です。次回は8月19日です
<b>オカリクラブ ひまわり</b>	
8月19日(月)13時30分~	毎週月曜日、祝日はお休みです
<b>&lt;歴史を学ぶ 新八幡の歴史 N056&gt;</b>	
8月22日(木)13時30分~	講師出口修さん 参加費100円 月1回
<b>&lt;映画上映会&gt;「録道員 ぼっぼや」</b>	
9月3日(水)13時~	高倉健 112分1999年
<b>絵手紙講習会</b>	
9月11日(水)午後1時30分~	描く材料があれば持って来て下さい。
<b>&lt;楽しい理科の実験 N057 スケルトンシーフ&gt;</b>	
9月26日(木)13時30分~	講師 木下章司さん 参加費300円(コーヒーつき)

### あんなことこんなこと

\* 水俣病を読みだしてもう何か月か経ちましたが、今回の証言は身につまされる思いになりました。丁度孫が手術した時だったので、余計に。胎児性水俣病の方々を残して亡くなられる親御さんの気持ちとかいたたまれないです。今は地域で居場所が作ってありますが、もっと有機水銀が原因とわかった時にチッソが

排水を止めていたら、被害は少なくてすんだでしょう。国は知っていて産業を優先してきたんですね。自分がチッソに勤めていたらどうしていますか。今年暑くて苦しいくらいです。ある番組で来年以降には今年がまだまじだったと思うようになるとの話がでていました。日本全国どこでも同じ状態になるそうです。水分をたくさんとって体を大事にしましょうね。(うえたに じゅんこ)